

9月23日から24日にかけて複数回発表された【記録的短時間大雨情報】

# 災害が発生した「あの時」町は そして復旧へ向けて踏み出した一歩

9月23日、土砂災害警戒情報の発表を受けて、町は災害対策本部を設置。応急復旧に努めました。同本部を廃止する10月14日までを時系列で紹介するとともに、被害情報および雨量の状況についてお知らせします。

24日時点では、正確な発生件数を把握できないほど、町内の至る所で土砂災害が発生しました。国道362号および473号をはじめ、県道川根寸又峡線の多くの箇所が崩壊が確認され、また、大井川鉄道では全面で運転を見合わせる事態になり、町は近隣市町へのアクセスを断たれ、完全な孤立状態に陥りました。道路被害だけにとどまらず、各地で断水や濁水の被害が発生し、住民のライフラインとなる水道にも多大な影響を及ぼしました。

同日17時までに、大雨警報および高齢者等避難が解除されると、町は翌25日から、断水被害地区のために給水場を設置し、孤立地域に向けて支援物資の運搬を始めました。

また、被害状況の正確な把握と早急な復旧を目指し、国土交通省緊急災害対策派遣隊に支援を要請。同隊は10月13日までの約2週間、各地の被害状況などの情報を収集し、今後の町の災害支援策に対して多くの助言をもたらしました。

9月26日、静岡県に陸上自衛隊の派遣を要請し、同日から自衛隊による孤立地区の現地調査や水川区の仮水源確保作業が行われました。その結果断水が解消したほか、孤立していた文沢地区の住民の避難が完了するなど、少しずつ「復旧」「復興」に向けて動き始め、10月14日には、災害対策本部を廃止しました。

時系列で振りかえる災害と復旧状況

10月14日	10月1日	9月30日	9月29日	9月27日	9月26日	9月25日	9月24日	9月23日
災害対策本部 廃止（全庁体制での災害復旧・復興、現在も継続中）	断水解除に伴い給水場・給水タンク撤去 ふるさと納税で寄付金の募集開始 （11月11日時点で約207万円） 川根本町災害義援金受付開始 <b>国土交通省 緊急災害対策派遣隊 活動終了</b>							

## 河川・砂防・道路の専門家集団「国土交通省緊急災害対策派遣隊」が活動

9月26日、国土交通省から緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）が派遣されました。同隊は自治体からの支援要請に基づき、二次災害の防止や迅速な応急処置のための被災状況調査、災害対応に関する技術的助言などを行い、被災した自治体の早急な復旧支援をする部隊です。

被災地で現地調査を行い、その結果を10月2日と7日の2回、町長に報告し復旧に向けた助言を行いました。



▲土砂災害の現場を調査 ▶町長へ調査報告および復旧に関して助言

## 被害状況（令和4年10月14日時点）

住家被害	全壊 1件 半壊 3件 非住家（倉庫など） 10件
人的被害	床下浸水 4件 死傷者数 2名
避難者数	5世帯 13人
断水被害	1,251世帯（10月3日解消）

## 雨量の状況（9月23日～9月24日）

▶ 24時間最大雨量	9月23日2時～24日2時 <b>359.0</b> mm
▶ 最大時間雨量	9月23日23時～24時 <b>94.0</b> mm
▶ 連続雨量	9月23日12時～24日2時 <b>346.0</b> mm